

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(7/10)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区(栃木県)	準	B 3.6	C 3.3 進捗度 ・整備する小水力発電施設の出力合計 ・CO2排出削減量 等 (※平成26年度に小水力発電施設が設置・稼働するため、それまでの間は定性的評価)	B 3.8 規制の特例等 ・特定水力発電事業等 財政支援等 ・小水力等農村地域資源活用促進事業(適地調査) 地域独自の取組 ・県内企業の中小水力発電に係る技術開発等への支援等	±0.0	<p>・<u>実証段階レベル(※1)であり、今後に期待。</u></p> <p>・(発電量などの評価指標の実績値が出るのが平成26年度以降となるため、それまでの間、)定性的評価になることはやむを得ないが、<u>実証試験によって、進行管理上有益な、どのような情報取得や検証を行うことができたのか、明確にすることが必要。(※2)</u></p> <p>※1:平成26年度の小水力発電施設の設置・稼働に向けて、24年度においては、適地調査及び小水力発電施設を2基設置しての実証試験を開始している。</p> <p>※2:実証試験は、小規模な小水力発電施設を県内全域に普及させるため、農業用水路を利用した既製の小水力発電設備を設置し、年間を通した発電効率等の調査を行うことを目的としている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。